

## 1 題材名

『知っていますか すごかった千葉市の台風被害』 <4年 地理的分野>

～考えよう 災害から自分の生活を守るために～（令和元年房総半島台風15号と10月の大雨の被害から）

## 2 授業のねらい

- ①千葉市市政100年を迎え、これからの千葉市は「災害に強いまちづくり」をめざしています。また、学習指導要領でも学習として「自然災害から地域の安全を守る」が取り上げられています。そこで、日頃から自然災害への備えをどのようにしたらよいかを千葉市が発行した資料をもとに学習します。
- ②千葉市を襲った令和元年の台風被害は甚大なもので、暴風による家屋の破損、長期間の停電、亡くなる方もいました。4年副読本「3自然災害から人々を守る」の学習として、この千葉市を襲った台風被害を教材として取り上げて、災害をより身近なものとして考えていきたいと思えます。
- ③千葉市防災ポータルサイトにある千葉市各地域のハザードマップから、自分の住んでいる地域はどのような災害が考えられ、どこが避難場所かを確認して、防災の備えとして自分たちに何ができるか考えていきます。また、令和2年度千葉市発行の「災害に強いまちづくり政策パッケージ」を学習して千葉市が考える新しい防災対策も学習します。

## 3 指導計画上の位置付け

◇4年社会科指導計画 3「自然災害から人々を守る」と関連します。

◇4年副読本P48「自然災害から人々を守る」に追加する千葉市の台風被害を学ぶ1時間の学習です。

## 4 予想される授業の流れと指導資料

- ①令和2年千葉市発行「令和元年災害記録誌」をもとに、千葉市を襲った台風で受けた電気・通信・水道などのライフライン、被害状況の写真（小学校体育館の屋根・道路冠水・倒木と電柱の倒壊等）から、身近な地域に起きた千葉市の被害の様子を資料をもとに実感を持って考えます。
- ②千葉市防災ポータルサイトのハザードマップを活用して、自分の学校の地域にはどのような災害が起こる可能性があるかを話し合います。
- ③千葉市「わが家の危機管理マニュアル」を参考に「実際に災害の時には、何が困るのだろうか」という問題を立てて、具体的に予想していきます。  
（家族の安否確認・自宅周辺の避難場所・水や食糧や日用品の確保・避難生活上の不安等）
- ④自宅の災害備品に何があるか事前にアンケートで調べたり、できれば学校や地域の災害用倉庫の中を調べたりして、日頃から災害へのどんな備えが有ればよいのかをじっくりと話し合います。  
（日本赤十字社「非常時の持ち出し品チェックリスト」活用） [自助・共助を考える]
- ⑤令和2年に千葉市が発行した「災害に強いまちづくり政策パッケージ」を資料として、千葉市の自然災害への備えを学び、自分はそのために何をしたらよいかを考えていきます。 [市の公助を考える]

<活用する資料>

- ◎千葉市発行「令和元年災害記録誌」 ◎日本赤十字社「非常時の持ち出し品チェックリスト」
- ◎千葉市「わが家の危機管理マニュアル」 ◎千葉市防災ポータルサイト「ハザードマップ」
- ◎千葉市の災害政策「災害に強いまちづくり政策パッケージ」 ◎4年社会科副読本

## 5 指導上の留意点、その他

◇千葉市に起きた最近の災害を取り上げて、児童が災害を身近に感じられるように指導しながら、児童が日頃から災害に対して、自分や家族はどのような備えをしたらよいかを考えていきます。

◇千葉市の防災対策資料や千葉市のハザードマップを活用しながら、児童が学習後に自分の家族と災害に対しての話し合いの場が持てるように指導や助言をしたいと思います。